



# News Letter ☆ PIANC-Japan

## 国際航路協会 日本部会ニュース

August 2010 (Vol.10-2)

The World Association for Waterborne Transport Infrastructure

### PIANC MMXがリバプール(イギリス)で開催されました。

事務局長 柳 生 忠 彦

第 32 回 PIANC コングレス (PIANC MMX) がリバプール (イギリス) で、5 月 11 日から 14 日の間開催されました。

kongressには 36 カ国から約 520 人が参加し、日本からは 36 名 (同伴者 6 名を含む) が参加しました。

イベントは 10 日の夜に歴史的な建物の George ホールで開催された歓迎レセプションから始まり、11 日の開会式の後、14 日の午前中まで、4 つのセッションに分かれて論文の発表がされました。発表された論文の総数は 182 編 (応募総数 ; 230 編) で、日本からは 13 編 (応募総数 ; 30 編) でした。

期間中、同伴者には見学などの同伴者プロ

グラムや会議参加者と同伴者には見学会、音楽会、ナイトクルーズ等の盛り沢山のプログラムが用意されていました。

生憎、天候には余り恵まれずイギリスらしい寒い日の多い kongressでしたが、各人各様にリバプール、イギリス各地を楽しんでおられました。

kongress全体並びに論文発表の詳細については 6 月 22 日に開催された「PIANC-Japan 活動報告会」で報告していますので、

PIANC-Japan のホームページをご覧ください。なお、次回、第 33 回 kongressは 2014 年にサンフランシスコ (アメリカ) で開催されます。

### PIANC-Japan 理事会、総会及び活動報告会が開催されました。

平成 22 年度の PIANC-Japan 理事会、総会及び活動報告会が平成 22 年 6 月 22 日に東海大学校友会館で開催されました。総会では次のような議案が審議されました。

1. 平成 21 年度会務報告並びに決算報告
2. 平成 22 年度事業計画並びに収支予算
3. 若手技術者の入会促進を目的とした会費の特例について
4. 役員の選任について
5. 顧問の委嘱について

役員については(財)沿岸技術研究センター

理事長 村田 進様に代わり小原恒平理事長が選任され、他の理事については再任となりました。また、国際港湾協会事務総長の交代に伴い、成瀬 進様に新たに顧問に就任頂きました。

その他、議案、議事の詳細については PIANC-Japan のホームページにアップしていますのでご覧ください。

## 若手技術者（40歳以下）の会費が特例として、年間5,000円になりました。

PIANC-Japan の長期活動方針の一つとして、「日本部会の組織の強化および活動の活性化を図る」ことが謳われています。

PIANC 加盟各国では若手技術者（40歳以下）による行事の実行などを積極的にいき、PIANC 活動の活性化に努めています。また、PIANC 本部ではその活動の活発な部会を毎年表彰しており、今年までに、オランダ、アメリカ、ベルギーが選ばれています。これらの国においては若手技術者の活動が盛んであり、その点も表彰選考の評価

項目の一つとして挙げられています。

PIANC-Japan においては、現在、会費負担の問題もあり若手技術者の数は個人会員133名中の3名程度にしか過ぎません。この様なことを背景として、次代を担う若手技術者の入会を促進するため、特例として、若手技術者(40歳以下)の会費を年間5,000円としたい。なお、これにより、PIANC-Japan の会員の増強も図られることとなります。

## PIANC 125周年記念事業の参加登録を開始しました。

2010年9月12日から14日の間、名古屋港で開催される「国際航路協会アジア地区125周年記念事業」への参加登録が開始されました。登録は「国際航路協会アジア地区125周年記念事業実行委員会」のホームページ

(<http://www.congre.co.jp/pianc125/>)からしていただけます。また、ホテルの予約もこのホームページ経由でしていただけます。皆様の参加をお待ちしています。

